

平成28年度第3回清瀬市史編さん委員会
議事要旨

日 時： 平成29年3月30日（木）
午前10時～12時

場 所： 第2委員会室（市役所本庁舎4階）

出席委員： 根岸茂夫、栗山 究、谷口康浩、浅倉直美、高村聡史、
齊藤隆雄、齊藤靖夫、岡田耕輔、黒田一美、小西一午、中澤弘行（11名）

欠席委員： 黒川徳男、坂間和英（2名）

事務局： 企画部長、市史編さん室長、市史係3名（5名）

《次 第》

1. 開 会
2. 平成28年度活動報告について
3. 平成29年度事業計画について
4. 『市史研究 きよせ』第2号について
5. その他
6. 閉 会

《配布資料等》

1. 会議次第（平成28年度第3回清瀬市史編さん委員会 次第）
2. 平成28年度事業報告【資料Ⅰ】
3. 平成29年度事業計画【資料Ⅱ】
4. 『市史研究 きよせ』第2号 目次【資料Ⅲ】

《審議経過》

1. 開 会

委 員 長 ただ今より、平成28年度第3回清瀬市史編さん委員会を開催します。
議事に入る前に、事務局より配布資料についてご説明いただきます。

事 務 局 （配布資料について説明）

2. 平成 28 年度事業報告について

- 委員 長 では、議事に移ります。
- 平成 28 年度活動報告について、各部会からご報告ください。時代順に、まず考古部会からお願いします。
- 考古部会長 考古部会では、今年度、資料編の編さんに向けての準備を始めました。市内でこれまで発掘された 20 か所の遺跡から出土したいろいろな時代の遺物を、時代別に分類する作業を行ってきました。報告書は個々の遺跡単位になっていますが、先史時代から歴史時代への移り変わりを明らかにするためには、時代別に分類するこの作業が必要です。また、考古資料においては、実測図が重要となります。それぞれの発掘調査報告書から図を取り込んでデジタルデータ化を進めてきました。これらの資料の中から重要度の高い資料を選び出して、資料編に掲載する資料の選定に着手しています。
- 委員 長 ありがとうございます。次に、古代・中世部会お願いします。
- 古代・中世部会長 今年度の活動報告は、資料にまとめた通りです。
- 作業項目で挙げておりますように、古文書調査を行い、それに基づきどのように資料編をつくるかという編集会議を開き、文章化をしているところ です。
- 古代・中世の場合、清瀬市域に関係のある古代・中世の項目として、古代では悲田処関係を中心にそこから少し広げた形での資料を、中世では八王子城主であった北条氏照という人物に関する文書、この地域の有力な一族であった大石氏、三田氏関係の文書、また、もう少し広くこの地域を中心に室町から戦国にかけて領主だった山内上杉氏関係の文書を収録するための作業を進めています。時代の特性として新しい史料がどんどん出る状況ではありませんので、既に所在がわかっている文書の調査になります。現物を見て、写真を撮るといった調査を行っています。文書の現物を見て、これまで研究上わかっていなかったことが判明することがあります。また、市民の皆さんにわかりやすい形で、写真を中心とする構成にし、花押や墨の色といった視覚的な示し方ができないかと考えて調査を進めています。本年度も昨年度に続き、都内から遠方まで調査を行いました。これまで写真が公になっていなかったものも拝見でき、来年の市史研究に反映できればという調査もできました。
- 遠方の調査では 8 月に米沢市上杉博物館での調査を行いました。国宝の上杉家文書は、膨大な量ですが、清瀬関係のかなりの点数の写真を撮る

ことができました。収穫の多い調査となりました。

成果をコンパクトにまとめられるよう議論を重ね調整しています。

これまでに撮った写真データに説明をつけて市史編さん室にお渡ししようとして作業をしているのですが、これに時間を取られており、遅くなっています。この点、どうやったら作業が効率よく進むか、市史編さん室とも調整しつつ今後の進め方について考えたいと思っています。

委員長

ありがとうございました。次に、近世部会について、私からお話します。

近世部会長

本来ですと、郷土博物館の収蔵資料をていねいに調査しなければならなかったのですが、私の都合でなかなかできませんでした。来年度はこれを中心にしようと考えています。

周辺の史料調査は少しずつできました。東久留米については前回の委員会でご報告した通り、南沢の文書調査を少しずつ進めています。近世初期に南沢村がどのように成立していくのかという史料も出てきまして、解読を進めています。

周辺については、平林寺、新座市内にあるものを見ていたのですが、埼玉県立文書館に小室家文書があり、現在の埼玉県ときがわ町の山の中の村の医者史料なのですが、近世から近代にかけていろいろな史料を集めていて、そのなかに野火止用水の史料が入っておりましたので、こうした史料を集めながら、これまで知られていなかったものを反映できるようにしようと考えています。

野火止は、近世中期から幕末にかけて高崎藩の飛び地、支配地だったのですが、高崎市の関係の調査を行いながら野火止に関する史料を見つけることができました。

狭山というのは、狭山市に篠井観音堂という山伏の寺がありまして、清戸にあった十玉坊とこの地域の支配をめぐる争って争っていました。中世から近世の初期にかけてそんな史料がだいぶありますので、そのころの清瀬の位置づけを知ることができる史料として調査を進めました。

また、国立公文書館、国会図書館のなかに、この地域を支配した旗本の史料、この地域のことを書いた地誌関係史料が多く含まれていますので、これも少しずつ調査を始めています。

近世初期、1640年代に何年か石川という旗本が下宿を支配していたことが分かっています。のちにこの石川は大名となり、伊勢の神戸(かんべ)、そのあと幕末には茨城の下妻の藩主となっています。わずか2万石の殿様ですが、史料が茨城県立歴史館にあります。調査を進めているのですが、大名になってからの史料が多く清瀬とのかかわりが数年だったこともあって、清瀬の関連資料はまだ見つかっておりませんが、史料が学習

委員 長
近代部会長

院の史料館にあることもわかりましたので調査しようと思っています。
本来の市内史料調査としては、中里の渋谷家、上清戸の村野家の文書で
前の市史に入っていない文書が何点か見つっていますが、基本的には
博物館の収蔵資料の現物をきちんと見ていこうと思っています。

次に、近代部会、現代部会について併せてご報告をお願いします。

近代と現代は境を設けず、一緒に部会長ふたりで作業を進めています。
まず、聞き取りを行いました。空襲に焦点をあててお話を伺いました。
清瀬に生まれ育って、どんな生活をしてこられたか、どんな印象をお持ち
かといったことも含めてお話を聞いています。29年度以降は、空襲ば
かりでなく生活、産業を含めたお話を聞いていきたいと思っています。
今回の『市史研究 きよせ』第2号では3人分30ページの聞き取り報告
が掲載されますが、毎号シリーズ化していろいろな方々の聞き取り調査
の成果を載せていけたらと思います。

平成28年度は、先行研究を含めて資料調査を行いました。郷土博物館に
重要な行政資料等があることがわかっていますが、博物館の許可を得て
資料を見せていただくには部屋のことや人員のことで制約があるので、
こうした資料を見やすい状況に置いていただけるよう工夫をしていただ
けたらと思います。

公文書等の調査については大学の図書館も含め進めており、さまざまな
資料が集まっています。国会図書館の憲政資料室のGHQ資料で、結核
予防会以外にも、气象台についてのものも見つかっています。

病院の調査はまだ手をつけておりませんが、先般、病院街の巡見を行い
土地勘ができました。その折、秋津のB29墜落地点も確認しました。市
内巡見については来年度も行いたいと思います。

慰霊碑、忠霊塔の調査も今年度はできませんでした。三鷹の調査も含め、
来年度進めていく予定です。

委員 長
事務 局

では続いて市史編さん室の報告をお願いします。

まず、市史編さん委員会の運営ですが、委員会を年間3回開催いたしま
した。そのなかで、市史編さん事業の進捗がわかりにくいというお声を
いただきましたので、今後わかりやすくお知らせできることを大きな課
題としてとらえ、進めていきたいと考えております。

次に、資料収集や調査等の事業では、専門部会が行います調査に際して
事前に調査先とも調整をはかるなど、調査が円滑に進むよう支援を行っ
てまいりました。

3つめの附帯事業については、『市史研究 きよせ』第2号の発行にむけ
て編集作業を進めました。また、1月22日には生涯学習センターにおい

て「清戸の戦国と江戸 ～『市史研究 きよせ』を読む～」というテーマで講演会を行いました。根岸先生に講師をお願いしました。日曜日の午前中にもかかわらず非常に多くの皆さんにご出席いただき、地域の歴史への関心の高さを改めて実感しました。

また、ブログ市史編さん草子「市史で候」を定期的に更新するなど、市史編さん事業の啓発にも力を入れてまいりました。そして、今年度は事務局に対し、郷土博物館友の会による「清博きよせ塾」等、講座の依頼等もあり、適宜対応しました。報告は以上です。

3. 平成 29 年度事業計画について

委員長 続けて議事を進め、ご意見ご質問等はのちほどまとめて伺うようにしたいと思います。では、来年度計画について各部会長の先生方からお願いします。考古部会についてお願いします。

考古部会長 平成28年度の当初計画にあげた項目のうち着手できなかったものがありますので、これを補いながら29年度の調査を進めていきたいと思えます。28年度の調査計画が当初予定通り進まなかった理由のひとつとして、専門嘱託員が就職にともない年度途中で退任し、後任が見つかるのに手間取ったことがあります。幸い後任が決まり、また3人の専門調査員も決まり、この方々と私とで体制が整いましたので、活動を進めていきたいと考えています。

まず、考古資料編の目次案を検討し、青写真を描いていきたいと思えます。だいたいの目次案を作ったうえで、掲載する考古資料を選定し、本の大きさを慎重に検討して図版のレイアウト作業を進めていく予定です。これがかなり時間のかかる作業になると思えます。

また、すでに市内で発掘調査をされて報告されている資料について、資料を再検討する作業を進めていく予定です。いま、立川市史にもかかっているのですが、立川でも再検討によって新たな事実もわかってきています。例えば縄文時代には農耕を行わなかったというのが今までの定説でしたが、土器に植物の種子の圧痕が見つかり、単純な狩猟採集民ではなく、原初的なものですが農耕、大豆や小豆など豆類の栽培が始まっていたことが明らかになってきています。これは新しい調査分析法ができてわかってきたことです。清瀬の資料についても同様の調査を進めていけば、そうした資料が見つかってくると思っています。

もうひとつは、環境史、地質学的な調査、第四紀の環境史に関する調査についても、市内の十分な踏査を行い来年度着手したいと思っています。

生活の舞台となった地域の環境史を調べてそうした内容を掲載していきたいということは、これまでもお話しているところです。

それから、未公開資料、個人蔵、神社にあるものなど、所在がよく把握されていない考古資料がある程度あるだろうと予想しているのですが、これについての調査も進める予定です。

種子圧痕や年代測定のための土器のおこげの分析は、いい資料が見つかってくれば、予算にも関わりますが、専門的な科学分析を委託して進めていきたいと考えています。分析技術が進み、何を煮炊きしたかの分析もできるようになってきています。

委員長

続きまして、古代・中世部会の計画についてお願いします。

古代・中世部会長

古代・中世部会では、平成27年度、28年度に引き続き、古文書調査と解説文の作成を中心にして活動を続けていきたいと考えています。31年度に資料編刊行予定ですので、来年度、再来年度で調査は終わらせて、31年度には印刷に向けての実際の作業に集中することになると思います。来年度は特に大きくまとまって史料のあるところを調査したいと考えております。編さん室にはご協力よろしくをお願いします。

欠かせない史料の調査先として、群馬県立歴史博物館、仙台市博物館、そして都内の調査先で重要ながら未調査のところに行ければと思っております。

調査の成果をまとめつつ、解説文を作りながら、写真検討等もしていきたいと考えております。調査の際は、通史編で使えるよう、風景写真、関連人物の墓地の写真なども含め撮ってきています。

今年度の『市史研究 きよせ』第2号にも挙げさせていただいていますが、来年度の第3号でも史料の紹介ができればと思います。先日、茨城で江口家文書の調査をいたしました。写真がこれまで一般に知られていなかった文書で、こうしたものを市史研究で紹介することで広く研究が進むことに貢献でき、ゆくゆく清瀬の歴史の解明にもつながることが期待できると考えています。

委員長

次に近世ですが、来年度は基本的に郷土博物館の収蔵資料調査を中心に行いたいと考えています。

やはり、現物を見なければわからないことがあります。現物を見た成果を活字にして、いかに一般の方にわかっているかという工夫が他の市史でもなされつつあります。そのためにも博物館の資料の現物をきちんと調査しなければならないと思っています。博物館の資料が調査しやすいように、少し考えていただけたらと思います。

市外の調査も、少しずつ進めています。所沢についてはこれからです。

所沢の、特に、城や本郷といった地域は、下宿や中里と非常に近い関係にあり、お互いにやりとりした史料がありますので、そういうものを見ながら地域を広げていくといった作業をやりたいと思っています。近世については以上です。

委員長
近代部会長

近代部会、現代部会について、お願いします。

近代部会、現代部会では、聞き取りを続けていく予定です。戦争、軍関係ももちろんですが、農業、商店街など産業関係、医療関係についても聞き取りをしていきたいと考えています。市政についても行いたいと思います。長期にわたって議員をされた方の聞き取りも考えたいと思います。

郷土博物館所蔵の行政文書にも魅力的なものがあるので、コピーをとって手元に置いて見ることができるよう、使いやすいようにしていただきたい。

学校関係についても、元教員の方にもお話を伺いたいと思います。学童疎開について、集団疎開については資料もいくらかありますが、圧倒的に多かったとされる縁故疎開についてよくわかっていない。昭和 19 年、20 年の東京にとって清瀬はどういう土地であったか見ていきたいと思います。

また、鉄道について、清瀬にとって重要なアシである西武鉄道について、今年ぜひ調査したいと考えています。

市内巡見も続けたいです。

東京商工会議所が昭和 40 年代に住民の意識調査を行っています。清瀬市でも行われていると思うのですが、こうした資料も集めておきたいです。資料の保存についてですが、写真など、集まった資料はきっちり保存しておくべく積極的に進めていただければと思います。

4. 『市史研究 きよせ』第 2 号について

委員長
事務局

ありがとうございました。では続いて、『市史研究 きよせ』第 2 号について、事務局からご説明をお願いします。

『市史研究 きよせ』第 2 号について、ご説明いたします。【資料 III】に目次をお示ししています。第 2 号の内容構成としましては、このような形で進めております。

三校のゲラをお返ししますのでご覧ください。現在、校正の最終段階にあり、近日中には納品の予定です。

<ここまでの報告、説明について質疑応答、意見等>

- 委員長 ありがとうございます。
それでは、ここまでについて、ご意見、ご質問いただきたいと思いますがいかがでしょうか。
- 副市長 博物館の資料について調査しにくいというお声がありましたが、どのようにするのがよいでしょうか。
- 委員長 作業室にその日だけ持ち出し、自由に使って、最後に博物館に返すというのでもよいと思います。
- 副市長 コミュニティプラザひまわりにある作業室に一定期間保管して利用していただくという方法はいかがでしょうか。
- 委員 市役所では難しいですか
- 委員長 市役所では資料を広げるのは難しいですね。
- 副市長 一定期間場所を確保するのも、市役所では難しいです。
- 近代部会長 資料のコピーをとって自宅でゆっくり読み込みたいと思います。
- 副市長 教育長に資料持ち出しの許可を得て、複写もできるようにしましょう。
- 委員 郷土博物館の資料ですが、市役所OBの方と5年間くらいかけて一度整理したことがあります。その資料の中には市史の編さんに役に立ちそうなものもありました。箱にまとめて置いたのですが、その所在がわかればそうした資料も、場所を決めて、一日でなく一定期間置いてじっくり見えるようにした方がよいと考えます。その資料を整理し終えたのも5年くらい前のことですが、お手伝いすることがあれば言っていただければと思います。図面もあり、古い地番と照らし合わせれば役に立つと思います。
- 古代・中世部会長 昨年度、古代・中世部会で郷土博物館所蔵の板碑の写真を撮らせていただきました。博物館の資料は調査しにくいというお話ですが、そのときは市史編さん室を通して連絡していただいたところ、かなり迅速に対応していただきました。ただ、キャプションをつけた写真を博物館にお渡しする約束なのですが、作業が滞っており、そのことが影響しているのではなければよいのですが。
- 事務局 そのことは影響ないと思います。正式にご依頼があれば調査の打診をしますので、そうしたときの対応はしっかりなされていると思います。
- 委員 質問です。環境史の調査というお話がありましたが、それはどのようなものですか？
- 考古部会長 いろいろなやり方があるのですが、ひとつには簡易ボーリングをして、土壌の中に残っている花粉を調べる方法があります。

あとは、川の堆積物を調べて、どのくらい洪水が起こっていたか、降水量がどれほどだったかといったことを知る方法があります。

適切な場所が見つければ有効な調査になると思います。低湿地のような場所が良いです。踏査をして見てみたいと思います。

委員 清瀬にはカタクリの群生地が空堀川流域にあるのですが、場所によってカタクリがまったくない場所があります。それはなぜなのか。そういったことが先ほどお話にあった環境史調査でわかるのでしょうか。また、清瀬の植生は幅広く、いろいろな種類が混在しています。その理由づけになるのではないかと期待します。

委員 過去のボーリングのサンプルは使えないでしょうか。

考古部会長 建築目的のボーリングですと、環境調査とは目的が違うので、サンプルは今言ったような調査には使えません。

委員 農作物についてですが、清瀬で作っているものは埼玉の入間郡に似たものを作っています。大まかにいうと、東久留米や東村山で作っていないものですね。親戚関係のせいだと思いますが、昔は清瀬で作ったものを入間人参、入間牛蒡として出荷していました。

柳瀬川流域は水田がありましたが、志木街道沿いには水田はありませんでしたから、おのずと作るものも違い、農作業の関係も違います。

昭和 30 年、40 年ごろから作る作物がまったく変わってきましたが、大正時代からの流れも見る必要があると思います。清瀬には昭和 36 年 7 月 28 日に花野菜、カリフラワーの苗が軽井沢から初入荷しました。西洋野菜のはじまりですね。また、農業の変化には流通の面の影響もあると思います。農業にしても、商店街や産業のことにしても、背景を併せて考えていかないといけないと思います。

また、戦前のことを最もよく知るのは大正生まれの人です。もう 90 歳代になっていて、話をきくのは難しくなっていますが、今押さえておかないと、いろいろなことが分からなくなります。

委員長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

委員 根岸先生にお話いただいた講演会は好評でした。郷土研究会の仲間も 16 名参加しまして、講演会を機会に市史研究を買って熱心に読んでいる人が増えたという現状があります。ですので、今後も報告を兼ねた講演会を続けてやっていただきたいと思います。関心が高まると思います。

また、最近、近隣市の講座や講演会に出ているのですが、そのなかで、所沢の市史についての説明会があり、参加しました。そこでは「市民学芸員」が説明していました。市史を前に置いていろいろなこととお話されました。豆知識から、地形の話、遺跡のことも含めてお話をされまし

たが、清瀬でも市民学芸員のような制度を作って清瀬のことをよく知っていただくようにする必要があるのではないかと思います。所沢ではこの制度が始まって7年目で17名の市民学芸員がいるそうです。

委員長
委員

市民との協働で、ということですね。他にいかがでしょうか？

1月の講演会は盛況で、皆、感動したと言っていました。ただ、市史の事業全体がどのくらい進んでいるのかわからないという声もありました。『市史研究 きよせ』第2号で明らかになるはずだからと話しましたが、刊行はまだですか？我々にもまだわからない状態ですが。

事務局
委員
事務局

いま最終調整中で、近日中には刊行の予定です。

市民が見てわかった、というような市史研究にしてほしいです。

委員会が年間3回ですので、内容については第2回委員会でお諮りしましたけれども、具体的な内容についてはタイミングが難しくお伝えする機会を逸しておりました。第3号については青写真の段階で示せるようにしたいと考えます。次回の委員会で方向性について議論していただければと思います。

委員

資料調査に作業室を使われるのであれば、送迎のお手伝いはさせていただきます。市内巡見にも参加したいと思っています。

古代・中世部会長

『市史研究 きよせ』についてですが、文書調査に行った先にPRと今後の関係保持のために送っていただけるとありがたいです。来年度、調査のときに1号、2号を持って行けると、先方では図書館などに置いてもらえらると思うので効果的です。在庫の確保の問題があると思うのですが、無償配布が可能な部数を確定していただき、有効に活用していただきたいです。

事務局
委員長

先生方の調査が円滑に進むようにしたいと思います。

市史編さん室から連絡して調査に行くときには持って行く、というようなシステムができるといいと思います。

5. その他

委員長

それでは、議題5「その他」に移りたいと思います。事務局からお願いします。

事務局

【資料Ⅱ】平成29年度事業計画の最後の2ページをご覧ください。今一度、刊行計画等についてこの表で確認していただきたいと思います。平成31年度には古代・中世資料編を刊行予定ですので、来年度、平成29年度中には市史の名称などを決定していかなくてはならないと考えています。また、各部会共通事項について、部会長会議を開いて決定していただければと思います。

また、市史編さん事業の進捗状況について、先ほど来よくわからないという声が寄せられておりますが、そういった課題を解決する意味で、各部の進捗状況と刊行に向けてのスケジュールについて、部会長の先生方にご記入いただき、次回の委員会にお示しいただき編さん事業の進捗が分かるような形にまとめたいと思います。ご協力をお願いします。

来年度の編さん委員会ですが、例年通り年間 3 回開催予定です。時期としましては、5 月、10 月か 11 月、そして 3 月を考えております。次回は 5 月下旬を考えておりますが、改めて事務局よりご連絡いたしますのでよろしく願いいたします。

委員 長
考古部会長

他にいかがでしょうか？

平成 29 年度の活動予定の説明のなかでお話しましたように、考古資料編については 29 年度に掲載資料を絞り込んで図版のレイアウト作業を始めたいと考えています。ですので、本の判型が決まっていないとこの作業が進められませんので、全部の資料編を同じサイズにするのか、部会によって違ってよいのか、縦書きか横書きかといったことを、早めに決めていただけると助かります。

委員 長
事務局

5 月の委員会の前に部会長会議を開いて基本的な体裁を決めて、それを委員会に出して議論いただけるようにしたいと思います。
対応します。

6. 閉 会

委員 長

それではこれで平成 28 年度第 3 回市史編さん委員会を閉会いたします。
ありがとうございました。

平成 28 年度事業報告

- ・考古部会
- ・古代・中世部会
- ・近世部会
- ・近代部会・現代部会
- ・市史編さん室

■考古部会【平成28年度活動報告】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
考古資料編準備 資料調査 広報普及活動	既報告資料のデジタルデータ化	資料編掲載資料の選定準備	資料編掲載資料の選定準備 調査員3名委嘱	資料編目次案の作成着手 『市史研究 きよせ』の原稿執筆

■古代・中世部会【平成28年度活動報告】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
<p>実踏調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八王子城・滝山城 ほか <p>古文書調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北条氏照文書 ・大石氏・三田氏関係文書 ・山内上杉氏関係文書 <p>編集会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収録史料の選定 ・解説の具体化 ・体裁・書式の検討 	<p>古文書調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県立文書館 ・埼玉県立文書館 ・越前大野市五畿屋文書 ・越前大野市岡部家文書 <p>編集会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世後期班(5・6月) 	<p>実踏調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米沢市照陽寺 (上杉憲政墓所ほか) ・京都市悲田院跡 <p>古文書調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米沢市照陽寺文書 ・米沢市上杉博物館 ・市立米沢図書館 ・京都府立総合資料館 ・京都大学総合博物館 <p>編集会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世後期班(7・8・9月) 	<p>実踏調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝山城 ・八王子城 ・八王子市宗閑寺 <p>古文書調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野市金剛寺文書 ・八王子市宝生寺文書 ・八王子市郷土資料館 ・本間美術館(酒田市) ・致道博物館(鶴岡市) <p>編集会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代班(12月) ・中世後期班(10・11・12月) 	<p>古文書調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪青山歴史文学博物館 ・大和文華館(奈良市) ・茨城県立歴史館 ・水戸市江口家文書 ・五霞町渡辺家文書 <p>編集会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世後期班(1・2・3月)

■近世部会【平成28年度活動報告】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
<p>清瀬市内史料調査</p> <p>東久留米市関係史料調査</p> <p>新座市関係史料調査</p> <p>狭山市関係史料調査</p> <p>国立公文書館・江戸幕府関係史料調査</p> <p>茨城県立歴史館調査</p>	<p>南沢村文書調査</p> <p>旗本・地誌関係調査</p>	<p>南沢村文書調査</p> <p>埼玉県立文書館「小室家文書」調査</p> <p>旗本・地誌関係調査</p> <p>下宿の地頭石川氏関係史料調査</p>	<p>高崎市「飯野家文書」野火止関係史料調査</p> <p>篠井観音堂関係史料調査</p> <p>地誌関係調査</p>	<p>星野繁氏関係史料調査</p> <p>地誌関係調査</p>

■近代部会・現代部会【平成28年度活動報告】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
<p>聞き取り(空襲・他)</p> <p>資料調査</p> <p>打合せ(近代部会・現代部会)</p> <p>編集会議</p>	<p>国会図書館→</p> <p>東京都公文書館→</p> <p>品川図書館→</p> <p>早稲田大学図書館→</p> <p>昭和館→</p> <p>国立公文書館→</p> <p>横浜市中心図書館</p> <p>川崎市立図書館(社史関係)</p> <p>國學院大學→</p>	<p>→</p>	<p>齊藤靖夫氏(1)</p> <p>三鷹市役所</p> <p>清瀬市役所</p>	<p>齊藤靖夫氏(2)</p> <p>原稿校正作業</p> <p>清瀬市役所</p>

〈市史編さん室〉
平成28年度年間事業報告

1. 市史編さん委員会運営

清瀬市史編さん基本方針に基づく編さん事業の管理

(1) 市史編さん委員会の開催 (年3回)

[第1回]平成28年7月4日(月)

平成27年度事業報告書について
平成28年度事業予定について
市制施行50周年記念の取り組みについて
その他

[第2回]平成28年11月24日(木)

清瀬市史編さん委員委嘱について
専門部会活動報告
市制施行50周年記念の取り組みについて
『市史研究 きよせ』第2号について
その他

[第3回]平成29年3月30日(木)

平成28年度事業報告について
平成29年度事業計画について
『市史研究 きよせ』第2号について
その他

2. 資料調査等

清瀬市史編さんに係る資料の収集や資料調査等

(1) 専門部会の運営

各部会活動報告参照

(2) 資料収集・調査等

- 1) 市内石碑調査
- 2) 渋谷家文書データ化
- 3) 野塩八幡神社建替え関連式典取材
- 4) 蔵の曳家(下清戸)取材
- 5) 学校資料の概要調査(H28.4.28 清明小学校、H29.2.23 清瀬小学校)
- 6) 東京病院図書室資料調査
- 7) 東村山ふるさと歴史館資料調査 等

(3) 市の歴史関連の問い合わせ対応

庁内、市内、市外、他自治体からの問い合わせに対応した

3. 市史編さん付帯事業の実施

(1) 『市史研究 きよせ』に関する事業

1) 『市史研究 きよせ』第1号の普及

献本 195冊（国会図書館、他市機関、市内各学校他）

販売 116冊（平成28年6月～平成29年2月）

2) 『市史研究 きよせ』第2号の編集・発行

平成29年3月31日500部発行予定

目次コピー参照

(2) 講演会の開催

市史講演会第1回「清戸の戦国と江戸～市史研究を読む」

講師：根岸茂氏（編さん委員会委員長）

日時：平成29年1月22日（日）午前10時～正午

会場：生涯学習センター講座室1

参加者：54名（満席）

(3) ブログ活用による事業の普及啓発

1) 市史編さんブログ「市史で候」の更新

二十五の巻「ちら見せ『市史研究 きよせ』【平成28.4.28更新】～

三十四の巻「鳥瞰清瀬 第4回 桜を語ると思いきや」【平成29.2.27更新】

2) 「市史で候」プリントアウト版ファイルを市内図書館等に設置

(4) 啓発グッズ等の検討

『市史研究 きよせ』発刊PRうちわ作成・配布

(5) 講座依頼への対応

・「あちさい句会」にて「石田波郷と清瀬」

日時：平成28年6月23日（木）午後1時45分～2時15分

場所：アミューホール

依頼元：石田波郷俳句大会実行委員会

・「清博きよせ塾」にて「病院街の歴史」

日時：平成28年11月17日（木）午前10時～11時

場所：清瀬市郷土博物館講座室

依頼元：清瀬市郷土博物館友の会

*平成29年度より「きよせ文学散歩」として市の出前講座に登録

4. その他

- ・NHK ラジオ「旅ラジ！」出演（清瀬市の紹介）
- ・結核予防会と清瀬市による結核予防キャンペーン ブックカバー制作に協力
- ・地域資源発掘型プログラム（都）「清瀬 結核の歴史展」に参考資料提供

平成 29 年度事業計画

- ・ 考古部会
- ・ 古代・中世部会
- ・ 近世部会
- ・ 近代部会・現代部会

■考古部会【平成29年度活動計画】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
考古資料編準備 資料調査 広報普及活動 委託事業 フィールド調査	資料編目次案の検討 既報告資料の再検討 遺跡踏査、現状確認	掲載資料選定・図版レイアウト 既報告資料の再検討 遺跡踏査、現状確認	掲載資料選定・図版レイアウト 分析資料選定	掲載資料選定・図版レイアウト 分析資料選定 『市史研究 きよせ』の原稿執筆 自然科学分析委託

■古代・中世部会【平成29年度事業計画】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
<p>実踏調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青梅市域 ・あきる野市域 <p>古文書調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県立歴史博物館 ・仙台市博物館 ・あきる野市 阿伎留神社 ・お茶の水図書館 ・奥多摩町原島文書 ・東村山市 多功文書 ・国立公文書館 <p style="text-align: right;">ほか</p> <p>解説文の作成</p> <p>編集会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収録史料の選定 ・解説文の作成 ・解説文の検討 ・体裁・書式の検討 	<p>実踏調査</p> <p>古文書調査</p> <p>解説文の作成</p> <p>編集会議</p>	<p>実踏調査</p> <p>古文書調査</p> <p>解説文の作成</p> <p>編集会議</p>	<p>実踏調査</p> <p>古文書調査</p> <p>解説文の作成</p> <p>編集会議</p>	<p>古文書調査</p> <p>解説文の作成</p> <p>編集会議</p>

■近世部会【平成29年度活動計画】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
市内資料確認調査	月1回×3 博物館収蔵史料調査撮影	月1回×3 博物館収蔵史料調査撮影	月1回×3 博物館収蔵史料調査撮影	月1回×3 博物館収蔵史料調査撮影
翻刻作業	5日分×3 翻刻作業を日数換算	10日分×3	15日分×3	15日分×3
資料編構成の検討			月1回×3	月1回×3
市外関係史料調査	月3日分×3	月3日分×3	月3日分×3	月3日分×3

■近代部会・現代部会【平成29年度活動計画】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
<p><聞き取り> 産業（農業・商業（商店街）） 医療（病院関係者） 市政（市長・議員…）</p> <p><行政資料> 博物館所蔵分</p> <p><病院施設></p> <p><校史関係> 市内各校所蔵資料 学童疎開関係資料（関係者聞き取り）</p> <p><鉄道資料> 西武鉄道株式会社調査</p> <p><市内巡見②> 北部</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>	<p>→</p> <p>→</p>	<p>原稿起こし・校正→</p> <p>→</p> <p>○</p>	<p>（掲載）</p>

刊行計画と準備スケジュール(平成 29 年度 編さん委員会)

	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31 2019	H32 2020	H33 2021	H34 2022	H35 2023	H36 2024	
【資料編】												
				名称決定(委員会) 各部会共通事項確認(部会長会)								
考古				考古				目次確定/入稿	○刊行			
古代・中世				古代・中世	目次確定/入稿	○刊行						
近世				近世		目次確定/入稿	○刊行					
近代				近代					目次確定/入稿	○刊行		
現代				現代			目次確定/入稿	○刊行				
【通史編】											○刊行	
				名称決定(委員会) 各部会共通事項確認(部会長会)							入稿了	編集作業
【その他】												
普及啓発版							○刊行					
市史研究	—	○1号	○2号	○3号	○4号	○5号	○6号	○7号	○8号	○9号	○10号	
				事務局で構成案→委員会で検討・承認 部会報告：各部会に執筆依頼 編集：事務局								

各部進捗状況と刊行に向けてのスケジュール

< 部 会 >

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
				古代・中世編刊行	近世編刊行	現代編刊行	考古編刊行	近代編刊行	
資料編		★							
		名称等基本要項について 議論、調整、決定 (市史編さん委員会/部会長会)							
通史		★						(入稿了)	E 編集作業

通史、資料編それぞれについて、刊行までの時間配分を下記 A から E の記号で示してください。

A：資料収集・研究 / B：整理・検討 / C：執筆項目検討 / D：執筆 // E：編集作業

★：現在地点